



広報

とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和47年2月20日発行 No. 94



二十の春をたたえる

つづって保存いたしましたよ

飛ぶ白雲を仰ぎては 遙かなる

希望に高鳴り 流るる水を眺めては

うたかたと消えゆく 人の世のはかなさをなげく

であろう 多感な二十の君達。

そして世の汚濁を知らぬ純血が正義に燃え

真理の探求に情熱を傾けるであろうこそ

悔なき青春と言いましょ

おとなへの門出を心から祝福すると共に

激動の内外情勢に対処しそれぞれの分野での大い

なる飛躍を期待して

青年の樹が枝をはり葉を繁らせ

風雪に堪えてたくましく成長することを

心から祈念して止みません

昭和四十七年一月十五日

利根町長

小島 栄一郎



ことしの成人式は利根中学校の体育館で行なわれました。

写真は希望にみちた成人者の皆さんです。

郷土誌編さんと

資料借用のお願い

町が三年計画で郷土誌の編さんをはじめたことは、昨年九月号ですでお知らせしたとおりですが、町内の皆様がたの家の中に古文

書等がありましたら、編さん委員のかたまたは教育委員会に申してください。

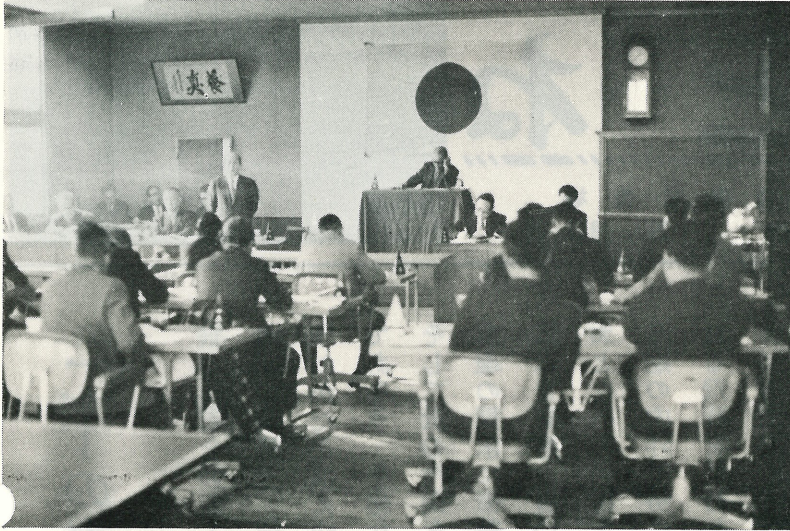
その際は、委員が伺いして、資料等を拝借したいと存じますので、ご協力のほどをお願い申し上げます。

議 会 だ よ り

46年度の一般会計予算は 三億六千七百四十六万五千円

昨年十二月に開かれた昭和四十六年度第四回定例会の中から、一般質問の主なものと議案の主なものを選んで次にご紹介いたします。

この議会だよりは、先月号に掲載すべきものでしたが、編集のつごうでおくれました。ことをお詫びします。



写真は第四回定例会の一般質問で答弁する小島町長

一 般 質 問

鈴木 茂議員

問 役場は支払いがおそいと町民の声を聞きますが、予算あつての購入である故、すみやかな支払いができるわけと思いますが、どのような機構になっておりますか説明を求めます。

町長 支払いはすぐやれというのが私の主義であるが、おそいということは、町長の責任であり、申しわけないと思つている。今後は町民の声を反映させた予算の執行をした

伊藤総務課長 歳入にとらみ合わせた支払いをしている。毎週月曜日に請求書をだしていただき、水曜日に支払いを行なつてゐる。

問 支出するまでの経緯をお聞きしたい。
伊藤総務課長 支出負担行為の提出―決裁―購入―支払

票の提出―決裁―購入―支払という形をとつてゐる。
問 町長の施政方針である利根町の開発について―地主及び進出企業、宅地造成業者との合意のもとに市街化区域、調整区域の両地帯の売買契約が進められていますが、この大事業に対して慎重に対処してゆかなければならないと痛

感しておりますが、町当局において今後いろいろな問題が発生すると思われまますので相談日等を設定してはどうか
下屋敷、油内、野岸地区の売買も進んでいます。この契約が完了すれば約十億円の金額になります。これに伴う税額も十四%で一億四千万円の巨額になりますので、町当局は、所轄税務署とも相計り説明会等を催し、十分なる税対策を町民に知つていただくよう努力すべきと思ひますが以上の点につき、町長の考えをお聞きしたい。

町長 開発問題については、農業者が土地を手離すということ、離農対策として人材銀行を設置した。しかし、利用者がかほとんどないというところは、離農者自身がすでに適当な職を求めていると思われまます。さらに町では離農者に対して適切な対策を講じた

いと思ふ。
また、田地を離れた者については、有効な投資についての専門家の意見を聞いて指針を与えたい。納税についても円満な有利な方法で、町が中

意により決定した企業が、町の企図する都市計画に協力する」という条件であるなら、これに協力して開発を行ないたい。代金は契約してから三か月後に支払われる。

桑原税務課長 十億円の譲渡所得の場合は、必要経費五%の残つた額に合計十四%の税金がかかることになつてゐるが、法的に有利な方法で処理したい。もちろん税務署と相談して。

町長 宅地造成についての大型ダンプ公害については、各企業に申し合わせを行ない十分に検討して万全を期したい
佐々木民三議員

問 ①木造校舎の管理について ②教職員に対して研修等をどのようにしているのか。
町長 木造校舎の修理については、学校の現況を視察し、

年々修理を行なつてゐるが、次第に永久校舎にする考へである。四十七年度はとりあえず布川小学校を新築し、文と

文間は校庭の拡張を行なう。
大越教育長 木造建築は、早急に改築(鉄筋・鉄骨)した

築するといふのに百万円以上の金をかけても仕方がないの、応急措置にとどめている

文間小は、現在校庭拡張を行なっているが、その後、鉄筋の校舎を建てるかどうか検討したい。

教職員の研修については、法的にも定められておりますので、学校側の要望通り行なっております。

問 交通対策全般について質問する。

町長 交通対策については、栄橋の完成前から考えている物と人との二面からこれが対策をたて、交通環境の整備はいうまでもないことだが、運転者は法規を守り、歩行者もまた安全な歩行方法をとることがたいせつである。

今後、町民に対し、安全対策についての指導啓もうを積極的に行なうと同時に、来年度は、交通安全対策についての予算は増額したいと考えている。

根本七郎議員

問 小学校には体育館がないが、将来新設する考えがあるかどうか。体位の向上が重要視されている現在、速急にはなくてもよいからぜひとも町の執行部のかたのお考えをお伺いしたい。



県道竜ヶ崎～千葉線で最近交通事故が続出しております。お互いに気をつけましょう。写真は栄橋の交差点です。このほど信号機が設置されました。

町長 とりあえず校庭の拡張終了後に将来は建てる考えであるが、プールの建設を先行すべきであると思う。

教育長 各小学校とも校庭の拡張が先決問題である。それからプールと体育館の問題であるが、どちらを先きにするかはよく検討したい考えである。

関口喜一議員

問 主要幹線農道の舗装計画について

町長 町道の舗装が終了次第必ず農道の舗装も行ないたい

問 町民の声を聞く投書箱の設置について

町長 投書箱の設置については、声なき声を聞くための手段であり、区長会等にも相談して設置するかどうかを考えたい。

堀越彦里議員

問 公害問題について、現在はさほどでもないが、開発が進むにつれて、この問題が当然起こると思うので、新利根川に流れこむ水路の口は、いまから毎月一回ぐらいは定期的な水質検査をしておくべきである。

町長 新利根川へ汚水を流すことについては、下流の村々は反対している。水質検査については、少なくとも年二回ぐらひは必要があると考えている。

鈴木 吉議員

問 老人福祉センターの設置について、四十七・四十八年度の二か年計画でよいから考慮していただきたい。

町長 老人センターについては各地区ごとに毎年一箇所ずつ作るか、大きなもの一つ作るか、目下検討中であるが、国、県の提唱する福祉優先に添って町も進む考えである。

○：昭和四十五年度利根町一般会計歳入歳出決算認定について

○：昭和四十五年度利根町国民健康保険特別会計「事業勘定」及び「施設勘定」歳入歳出決算認定について

：以上の二件については、町

の監査委員北見正夫氏、鈴木茂氏の最終監査も済み、(地方自治法第二百三十三条の規定による審査)収支ともに正確にして、規定に違反したる点なく、かつその計算は、帳簿ならびに証書類と照合し、すべて正当なるものと認めるとの報告があり、原案どおり認定されました。

○：昭和四十六年度利根町一般会計補正予算について

：昭和四十六年度的一般会計予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二千五百一十一万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額は、三億六千七百四十六万五千円となりました。

補正予算の歳入及び歳出について主なものをあげると次のとおりです。

◎歳入

- ・町税二百万円
 - ・地方交付税 一千二百八万一千円
 - ・使用料及び手数料 四十五万七千円
 - ・県支出金 二十七万八千円
 - ・寄付金 五百七十七万円
- ◎歳出
- ・総務費 百八十一万三千円

- ・民生費 四万六千円
- ・衛生費 百二十七万七千円
- ・農林水産業費 百二十二万二千円
- ・土工費 十一万五千円
- ・商工費 八万四千円
- ・消防費 二百一十一万三千円
- ・教育費 百九万六千円
- ・公債費 六十五万二千円
- ・四十五年度分衛生組合追加負担金 四十九万二千円
- ・大房利用組合(ライスセンター)補助金 七十六万七千五百八十八円
- ・道路測量設計委託料 二百九十七万円
- ・中田切よう壁延長工事費 八十八万円
- ・押戸舗装工事不足分 五十四万一千円
- ・羽根野地区道路改良舗装工事費 四十二万五千円
- ・道路敷購入代 五十八万円
- ・単県工事地元負担金 二百六十五万五千円
- ・下屋敷排水しゅんせつ工事費 三十万円
- ・上曽根用排水路柵梁新設工事費 三十万円
- ・事費 四十四万四千円
- ・中学校電気水道料 六十一万九千七百円
- ・中学校校門コンクリート工事代 三十九万三千円
- ・中学校グラウンド整備工事代 三十七万円
- ・四十四年度道路事業整備債 八十八万円
- ：昭和四十六年度利根町国保特別会計補正予算について
 - ：直営診療施設勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ三万七千円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ一千七百五万二千円とする。
- ◎歳入
 - ・健康診断書料 三万七千円
- ◎歳出
 - ・備品購入費 三万七千円 (待合室テレビ代)
 - ：八幡作区画整理事業費に借入れれる借入金金の保証について
 - ：八幡作区画整理事業費として借入れれる借入金(最高額一億円を限度とする)については、利根町において保証する。

新春恒例の出ぞめ式

消防功労者等表彰さる

昭和四十七年の新春を飾る利根町消防団出ぞめ式は、去る一月七日、利根町立利根中学校々庭で、多数の来賓ご列席のもとに盛大に挙行されました。

寒空の下、この日は、山崎孝之団長以下四百三十名の団員が、早朝から出場して人員姿勢、服装、機械器具等の点検を行ない、また規律訓練、操法訓練等模範演技を繰りひろげたのち、次のかたがたに表彰状や感謝状が贈られました。

利根河畔で放水試験を予定しておりましたが、旧栄橋解体工事のため中止となり、出ぞめ式の行事をとどこおりなく終了いたしました。

【**県知事表彰・永年勤続者**】
 20年以上 第3分団久保田茂雄・第4分団香取清・第8分団渡辺和司・第10分団勝村明・第14分団高野洋・元第2分団新井幸雄・市川繁雄・元第4分団野田茂・元第7分団細田勝・元第11分団岩井誠一・元第14分団峰谷純男・元第20分団沼崎正一・高島泰男
 【**茨城県消防協会北相馬支部長表彰**】

第14分団
 団体 役場消防隊
 個人 本部長菊地国雄・石井澄勇・寺田公・第1分団長山崎利男・第14分団長大野毅

【**町長感謝状**】
 退職分団長 元第3分団長山崎猛・元第7分団長平野勇・元第10分団長飯田忠一・元第11分団長森田茂夫・元第12分団長山田弘・元第16分団長野口多門・元第17分団長杉山忠義・元第20分団長金子富治

一般協力者 羽根野区・立木御手洗部落・加納新田桜井こう・上曽根木村松平・下井星野謙
 【**団長表彰**】
 団体 第20分団
 個人 第2分団長花島忠常
 第4分団長松浦新助・第9分団長三須清直・第17分団長田中進・第14分団長高野洋

【**お知らせ**】
 旧金鶏勲章叙賜一時賜金受給者に内閣総理大臣から銀杯が贈られます

昭和十五年四月二十九日付で、金鶏勲章を授けられた者で、昭和三十八年四月一日に生存していた者(同日以後に本人が死亡したときはその遺族)に、内閣総理大臣から、銀杯を贈ることが決定され、この対象者の調査を、日本金鶏連合会に委託して行なうことになっていきますので、該当者は、後記連絡先きに現住所氏名、生年月日、昭和二十年八月十五日の本籍地、最終の階級、功級、対象者が昭和三十八年四月二日以降に死亡した場合、は、遺族の住所氏名、対象者との続柄等をあわせてご連絡ください。

【**連絡先**】
 (日本金鶏勲章連盟茨城県支部長)
 結城郡石下町向石下 浅野 鹿之助 十八番地

【**参院選開票結果**】
 一三二五 中村とみ 喜友会
 四九一 山口武平 自民
 三五九 矢田部理 社会
 五六 石井健二 共産
 計 二二三一
 無効 八
 総投票数 二二三九
 有権者数 五九四九

町政懇談会開かる

去る一月二十日午後一時半から、利根町公会堂で町内各種団体の代表者九十余名が参加して、町政懇談会が開催されました。

この懇談会は、町内の皆さんのきたん(己憚)のないご意見を聞きまして、今後の町政を進めるための参考に供するとう主旨のもとに開かれたもので、特に今回は四十七年度の予算編成期を控えて、

「住民参加の予算編成」といふべく、まず小島町長から四十六年度の概況報告と四十七年度の主な事業の骨子の説明があり、続いて各種団体からの要望事項の開陳と質疑応答の順で会が進められました。座長には上原議長が選ばれましたが、その中の主なものを箇条書きにしてみますと次のとおりです。

- ① 惣新田三夜橋の建設
- ② 土地改良事業(谷津地区)についての利子補給
- ③ 公会堂横の道路(坂)の新設
- ④ 観光開発について
- ⑤ プールの建設(中谷)
- ⑥ 消防ポンプ自動車の購入
- ⑦ 交通安全に関する予算の増額
- ⑧ ひめみや沼の登記と県道の舗装
- ⑨ 羽根野団地と排水問題
- ⑩ 布川台の道路の拡幅と側溝の件
- ⑪ 主要農道の整備
- ⑫ 中宿通りの駐車場の善処
- ⑬ 新設県道(大房)舗装の件
- ⑭ 関東鉄道バスの布佐駅乗り入れの件
- ⑮ 横須賀と奥山間の防犯灯の設置
- ⑯ 下屋敷の排水について
- ⑰ 東文間小学校の雨もり補修の件
- ⑱ 老人いこいの家の建設
- ⑲ 町民の声を聞く投書箱の設置
- ⑳ 新住宅地域と新しい区の設定



写真は栄橋で帰りのバスを待つ布川保育園のヨイ子たちです。

保育所入所児童を募集

昭和47年度保育所入所希望者の募集につきましては、回覧などでもお知らせしましたが、現在保育所へ入所中の児童のうち、この4月に小学校へ入学される児童がありますので、その児童の補充として後記のとおり入所申請の受け付けを開始しましたから、希望者は申請してください。

ただし、布川保育園・文間保育園の定員は、それぞれ90人ですので、希望者が多いときは入所できない場合もありますのでお含みおきください

① 入所児童の資格
利根町内に居住する学齢前

- ② 入所受け付け期間
昭和47年2月1日から2月29日までとする。
- ③ 入所者受け付け場所
布川保育園・文間保育所
または利根町役場厚生課民生係り。申請の際は必ず印鑑をご持参ください。

歳末助け合い運動

実績報告

昨年暮れに実施いたしました恵まれないかたへの助け合い運動につきましては、皆様ごの御好意により、下記

の表のとおり好成绩をおさめることができました。厚く御礼申し上げます。
なお、これら金品の配分につきましては、左記の表のとおりですので、合わせて御報告申し上げます。

利根町社会福祉協議会
会長 小島 栄一郎

同情していただいた金品		配分した金品	配分した世帯及び人員
現金	151,706円	151,706円	42世帯 125人 入院(所)者 26人
白米	576kg	576kg	低所得ねたきり老人 2人 身障者 3人
もちごめ	45kg	45kg	交通遺児 4人 独居老人 6人

商工会だより

◆確定申告について

その年の一月一日から十二月三十一日までの一年間に得た所得とその税金を納税者が自ら計算して翌年二月十六日から三月十五日までの間に申告し納税することを「申告納税」といい、この申告を「確定申告」といいます。自分の納める税金を具体的に確定させるといふ意味において、もつともたいせつな納税上の手続きです。期日までに必ず申告しましょう。

◆税務個別指導

二月二十五日と三月八日に決算・申告の指導をいたします。

指導 岩田信吾税理士

場所 利根町公会堂 (二月)

利根町公会堂 (三月)

時間 十時〜三時まで

帳簿・決算書・申告書・印鑑をご持参ください。

◆みんなで掛金の安い火災共済にはいりましょう

三月ごろまでは火災多発期です。あなたの財産を守ってくれる掛金の安い配当金のつく茨城県火災共済をおすすめします。お電話くださいれば事務局が手続きに参ります。

◆四十七年度技能検査実施予定

一、前期

普通旋盤加工、鉄工、洋服仕立、洋裁、左官、タイル張り、畳製作、ブロック建築、とび、建具製作、木型製作、オフセット印刷、建築塗装、表具、配電板組立

二、後期

金属プレス加工、建築板金
和裁、建築大工、鉄筋組立て

建築製図

申請期間が短いので、検定を受ける希望のあるかたは早めに商工会事務局へご連絡ください。

◆アイスボックス等による事故の防止

冷蔵庫またはアイスボックスの需要者にあつては、アイスボックス等を廃棄する場合は、必ず蝶番または鍵部を破

簡易水道

ご利用の皆様へ

水道料金を納税貯蓄組合を通じて納入されているかたは従来どおりでけっこうですが個人で役場まで持参しなければならなかった人の便宜を考え、本年一月から(株)常陽銀行布川支店を収納取扱金融機関といたしましたので、電話料金、電気料金等と同じように水道料金も預金口座から



もうすぐ三月です。三月の声をきくと、冬の間つづいていた西高東低の気圧配置もくずれだし、日中の気温もどんどん上がってきます。春を呼ぶ平均気温五度の等温線は、暖かい九州の南部では、もう二月ごろ上陸しますが、本州では二月なかばから三月にかけて等温線におおわれるわけです。

植物の季節



(厚生課)

損して密閉することのない構造にすること。
一時的に使用を中止する場合は、木片等を扉と本体の間にはりつけ密閉することのないよう、幼児が遊ぶ可能性のある場所にみだりに放置しないようおたがいに気をつけましょう。

(利根町商工会事務局)

気温五度は、植物が生長する臨界温度とされており、この五度の等温線がひろがるタンポポやスマイレの花便りがきかれます。
初雷のごろごろと二度鳴りしかな
という河東碧梧桐の句があります。雷といえば夏のものと決めているかたもいらつしやるようですが、春雷は気象学では雷界のことで、夏のはちがつてそれほどはげしくなく、一つ二つで鳴りやむのが特色です。

さきほどの句で、ごろごろと二度鳴つた情景は、まさに春雷の特色を詠んだものですね。初雷は立春後、初の雷のことで啓蟄(けいちつ)三月五日)のころに鳴るので地方によっては、虫出しの雷などと呼んでいます。

町勢 (昭和47.2.1現在)		
世帯数	1,787	
人口	8,503	{ 男 4,145 女 4,358
発行所	利根町役場	場一郎
町長	小島栄	係
編集	総務課	広報
電話(利根)	(029768) 2211, 2212	
		2213
印刷	倉沢印刷株式会社	